

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 厚生労働大臣指定

### 令和8年度柔道整復師専科教員認定講習会実施要領

1. 目的 柔道整復師専科教員認定講習会（以下「講習会」という。）は、柔道整復師学校養成施設指定規則（昭和47年文部・厚生省令第2号）第2条第6号及び別表第2の規定に基づき厚生労働大臣の指定を得て実施するものである。

2. 主催者 公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-6-2 丸神ビル1階  
TEL：(03) 5405-1690 FAX：(03) 5405-3790

### 3. 会場

【東京会場／主幹校】 学校法人常陽学園 東京医療福祉専門学校  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-11-11  
TEL：(03) 3551-5751

(協力校) 学校法人呉竹学園 東京呉竹医療専門学校  
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12  
TEL：(03) 3341-4043

【大阪会場／主幹校】 学校法人関西医療学園 関西医療学園専門学校  
〒558-0011 大阪府大阪市住吉区苅田6-18-13  
TEL：(06) 6699-2222

(協力校) 学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校  
〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4-1-8  
TEL：(06) 6976-6889

(協力校) 学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校  
〒531-0071 大阪府大阪市北区中津7-1-13  
TEL：(06) 6454-2100

\* 会場は受講試験実施要項の案内図を参照

#### 4. 【東京会場】 開催期間

令和8年6月6日（土曜日）から令和8年10月17日（土曜日）までの期間内で、下記に定める時間とする。

6月6日（土曜日） 14時00分～ 20時00分（予定）

土曜日 13時30分～ 20時00分

日曜日・祝祭日 9時30分～ 16時40分

開催月	回数	土曜日	日曜日	祝日
6月	8回	※ <sup>1</sup> 6日（開講式）	7日	
		13日	14日	
		20日	21日	
		27日	28日	
7月	9回	4日	5日	
		11日	12日	
		18日	19日	20日（祝・月曜日）
		25日	26日	
8月	8回	1日	2日	
		8日	9日	
		22日	23日	
		29日	30日	
9月	4回	5日	6日	
		12日	13日	
10月	2～3回	※ <sup>2</sup> 3日（修了試験）		
		※ <sup>3</sup> 10日（追・再試験）		
		※ <sup>4</sup> 17日（開講式）		

※<sup>1</sup> 6月6日の土曜日は14時から20時までの予定となります。

※<sup>2</sup> 10月3日の修了試験は10時からの予定となります。

※<sup>3</sup> 10月10日の追・再試験は受験者のみ10時からの予定となります。

※<sup>4</sup> 10月17日の土曜日は15時からの予定となります。

【東京会場】 担当科目及び講師等一覧

担当科目	講師氏名	講師の所属先	職名
教育原理①②③④	大石 有希子	帝京平成大学 ヒューマンケア 学部 柔道整復学科	助教
教育原理⑤⑥⑦⑧⑨⑩	稲川 郁子	日本体育大学	教授
教育心理	奈良 雅之	目白大学大学院 心理学研究科	教授
教育方法 ①②	岡本 高宏	つるかめクリニック	医師
教育方法 ③④	岡本 美和子	日本体育大学 児童スポーツ教育学部	教授・博士(看護学)
教育方法 ⑤⑥⑦⑧	矢郷 哲志	東京科学大学大学院 保健衛生学研究科 総合保健看護学専攻 小児家族発達看護学研究室	助教・博士(看護学)
教育行政	関 芽	日本体育大学 児童スポーツ教育学部	准教授
人体構造機能学 (解剖学①②③④)	阿久津 裕彦	東京造形大学 美術学科	准教授
人体構造機能学 (生理学①②③④)	池本 英志	昭和医科大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	准教授
人体構造機能学(運動学)	前田 信吾	東京医療福祉専門学校	講師
衛生学・公衆衛生学	熊澤 真理子	東京メディカル・スポーツ専門学校	専任教員
柔道整復術の適応	檜山 政宏	横浜呉竹医療専門学校	講師
柔道整復師のための救急医学	渡邊 利明	湘南医療大学大学院	非常勤講師
整形外科学	檜山 政宏	横浜呉竹医療専門学校	講師
リハビリテーション医学	増山 英理子	昭和医科大学	准教授
医事制度及び法規①	谷口 和彦	(公社) 全国柔道整復学校協会	会長
医事制度及び法規②③	伊藤 譲	日本体育大学	教授
医事制度及び法規④⑤	千葉 竜一	東京メディカル・スポーツ専門学校	講師
柔道の歴史、柔道と柔道整復師	中島 嘉和	東京医療福祉専門学校	講師
柔道実技	中島 嘉和	東京医療福祉専門学校	講師
安全講習(救急救命法を含む)	早川 幸秀	東京呉竹医療専門学校	専任教員
柔道整復学 i	片桐 陽	東京医療福祉専門学校	専任教員
柔道整復学 ii ①	片桐 陽	東京医療福祉専門学校	専任教員
柔道整復学 ii ②③④⑤	伊藤 譲	日本体育大学	教授
柔道整復学 iii	深澤 晃盛	東京呉竹医療専門学校	講師

柔道整復学 iv	深澤 晃盛	東京呉竹医療専門学校	講師
科目担当	講師氏名	講師の所属先	職名
柔道整復学 v	未定	未定	未定
柔道整復 vi	未定	未定	未定
柔道整復術適応の臨床的判定	立木 北斗	東京呉竹医療専門学校	講師
医用画像の理解	川口 央修	東京呉竹医療専門学校	専任教員
臨床実習指導者制度の理解	伊藤 浩二	東京医療福祉専門学校	専任教員
高齢者の外傷予防技術	立木 北斗	東京呉竹医療専門学校	講師
教育実習	坂口 雅明	東京医療福祉専門学校	専任教員

5. 【大阪会場】 開催期間

令和8年6月13日（土曜日）から令和8年10月31日（土曜日）までの期間内で、下記に定める時間とする。

6月13日（土曜日） 14時00分～ 20時00分（予定）

土曜日 13時30分～ 20時00分

日曜日・祝祭日 9時00分～ 16時10分

開催月	回数	土曜日	日曜日	祝日
6月	6回	※ <sup>1</sup> 13日（開講式）	14日	
		20日	21日	
		27日	28日	
7月	9回	4日	5日	
		11日	12日	
		18日	19日	20日（祝・月曜日）
		25日	26日	
8月	8回	1日	2日	
		8日	9日	
		22日	23日	
		29日	30日	
9月	6回	5日	6日	
		12日	13日	
		26日	27日	
10月	2回～3回	※ <sup>2</sup> 10日（修了試験）		
		※ <sup>3</sup> 17日（追・再試験）		
		※ <sup>4</sup> 31日（閉講式）		

※<sup>1</sup> 6月13日の土曜日は14時から20時までの予定となります。

※<sup>2</sup> 10月10日の修了試験は14時からの予定となります。

※<sup>3</sup> 10月17日の追・再試験は受験者のみ14時からの予定となります。

※<sup>4</sup> 10月31日の土曜日は15時からの予定となります。

【大阪会場】 担当科目及び講師等一覧

担当科目	講師氏名	講師の所属先	職名
教育原理	石田 貴子	大阪成蹊大学	教授
教育心理	北口 勝也	武庫川女子大学	教授
教育方法	藤本 敦夫	大阪音楽大学	教授
教育行政	藤本 敦夫	大阪音楽大学	教授
人体構造機能学	渡邊 康晴	明治国際医療大学	准教授
	林 知也	明治国際医療大学	教授
衛生学・公衆衛生学	前川 佳敬	森ノ宮医療大学	教授
柔道整復術の適応	月山 国明	月山クリニック	医師
柔道整復師のための救急医学	佐原 啓太	平成医療学園専門学校	医師
整形外科学	月山 国明	月山クリニック	医師
リハビリテーション医学	鈴木 俊明	関西医療大学	教授
医事制度及び法規	谷口 和彦	(公社) 全国柔道整復学校協会	会長
	廣岡 聡	関西医療学園専門学校	専科教員
柔道の歴史、柔道と柔道整復師	吉田 勲生	明治東洋医学院専門学校	専科教員
柔道実技	吉田 勲生	明治東洋医学院専門学校	専科教員
安全講習（救急救命法を含む）	秋津 知宏	明治東洋医学院専門学校	専科教員
柔道整復学 i	北野 吉廣	平成医療学園専門学校	専科教員
柔道整復学 ii	藤原 清治	関西医療学園専門学校	専科教員
柔道整復学 iii	岩重 尚人	森ノ宮医療学園専門学校	専科教員
柔道整復学 iv	三澤 圭吾	明治東洋医学院専門学校	専科教員
柔道整復学 v	神内 伸晃	明治東洋医学院専門学校	専科教員
柔道整復学 vi	森 健治	関西医療学園専門学校	専科教員
柔道整復術適応の臨床的判定	馬場 裕介	森ノ宮医療学園専門学校	専科教員
医用画像の理解	竹本 晋史	平成医療学園専門学校	専科教員
臨床実習指導者制度の理解	土岐 明寛	平成医療学園専門学校	専科教員
高齢者の外傷予防技術	鈴木 俊明	関西医療大学	教授
教育実習	北野 吉廣	平成医療学園専門学校	専科教員

6. 受講資格 柔道整復師専科教員認定講習会受講試験に合格した者

7. 定員 東京会場40名、大阪会場40名とする。

8. 受講料 200,000円

受講料の振込先

振込み依頼者名は、受講者の氏名とする。

受講料は合格通知を受け取ってから令和8年5月29日（金曜日）までに指定口座に振り込む。

【郵便振替口座】 口座番号 00180-6-779458  
口座名称 公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
(手数料受講者負担)

9. 講習科目及び時間数

教職教育科目		専門基礎科目		専門科目		
科目	時間	科目	時間	科目	時間	
教育原理	20	人体の構造と機能		柔道整復学		
教育心理	24	解剖学・運動学・生理学	18	柔道整復学 i	6	
教育方法	16	疾病と障害		柔道整復学 ii		10
教育行政	8	衛生学・公衆衛生学	8	柔道整復学 iii		6
		柔道整復術の適応	4	柔道整復学 iv		8
		柔道整復師のための救急医学	8	柔道整復学 v		8
		整形外科学	8	柔道整復学 vi		4
		リハビリテーション医学	8	柔道整復学演習		
				施術の適応	2	
		保険医療福祉と柔道整復の理念		医用画像の理解		6
		医事制度および法規	10	超音波実習		4
		柔道(※)	4	臨床実習指導者制度の理解		16
		安全講習(※)	6	高齢者と競技者の外傷予防技術		4
				教育実習		
				教育実習(※)		2
				模擬授業(※)		8
				現場実習(※)		2
小計	68	小計	74	小計		86
合計 228時間						

※印の科目は、所定時間数を全て満たさなければ修了試験を受験できません。

## 10. 修了試験の受験要件

以下の2つの要件を満たした者が修了試験を受験できる。

- ・専門基礎科目の「柔道、安全講習」および専門科目の「教育実習、模擬授業、現場実習」については所定時間数を全て満たすこと。
- ・全科目の講習を受講し、所定時間数の5分の4以上を受講していること。

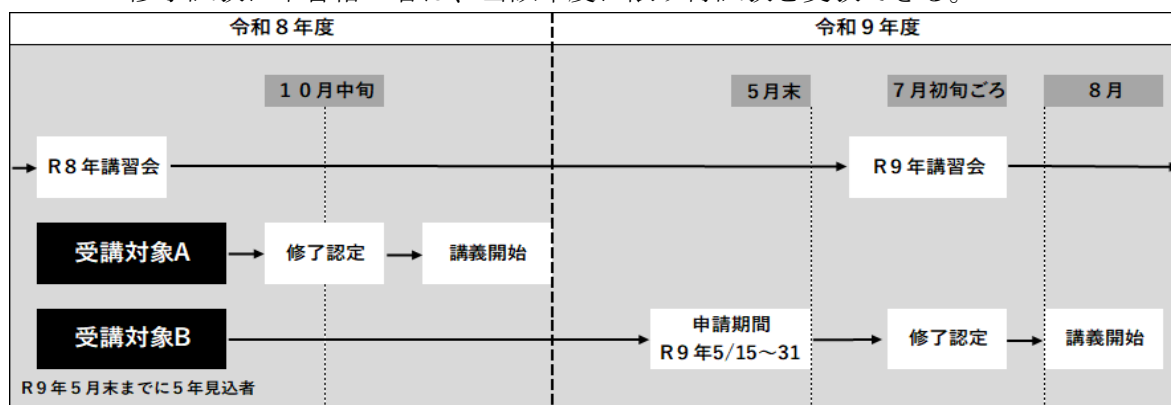
## 11. 講習会の修了認定等

前記の修了試験に合格した者には修了証書を授与する。

「受講対象 A」は前記の修了試験に合格することで修了証書を授与する。

「受講資格 B」は前記の修了試験に合格し、所定の方法によって申請し修了認定された者に修了証書を授与する。

修了試験に不合格の者は、当該年度に限り再試験を受験できる。



### 【修了認定後の授業担当可能時期について】

受講対象 A の方は、講習会を受講し修了試験に合格後、修了認定され、概ね令和8年11月から授業を担当できます。

受講対象 B の方は、講習会を受講し修了試験に合格後、5年以上の実務経験を満たす書類を添えて修了認定の申請手続きにより修了認定されれば授業を担当できます。

## 12. 「受講資格 B」の修了認定の申請期間と申請に必要な書類

申請期間：令和9年5月15日～31日

修了認定の申請に必要な書類：

(様式 18-1) 専科教員認定講習会修了認定申請書 (受講資格 B 用)

(様式 18-2) 柔道整復師免許取得後 (登録日以降) 5年以上の勤務内訳表

(様式 18-3) 実務従事証明 (提出用)

(様式 18-4) 実務従事証明書

※受講申し込み時に提出した実務従事証明書と重複する経歴も改めて提出してください。

※何らかの事情により令和9年5月31日までに5年の実務経験を満たさなかった場合は、令和9年12月1日から12月15日の期間に限り申請を受け付けます。詳細は個別に説明しますので必ず事務局に連絡をしてください。

## 13. 講習会に参加できない場合の受講料の返還

受講者が止むを得ない事情で講習会に参加できない場合、その事由を書面により受講開始日前日までに提出した者には受講料を返還する。